

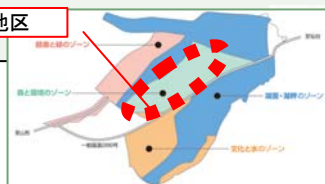
「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、公園区域中央、釜房湖に突き出した部分にある雑木林とスギ・ヒノキなどの植林地で構成された里山です。

「人と自然のふれあい」をメインテーマとして、平成26年春の開園を目指しています。これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな活動を行ってきました。

今年度は、開園を目指して、「里山遊び塾」・「里山育て塾」・「里山発見塾」の3つの活動を行っていきます。

里山地区



平成 25 年度は、6月29日に新年度ガイダンスを行い、7月からは正式にスタートしました。今後は、「里山遊び塾」を月2回、「里山育て塾」・「里山発見塾」をそれぞれ月1回のペースで、毎週活動を行っています。

里山遊び塾 11月2日（土）晴れ



炭焼き窯周辺の整備が続いています。今回は、ツリーハウス前の広場から炭焼き窯、カマドに通じる通路作りです。まずは、通路となる部分をジョレンで整地していきます。その後これまでにスギの伐倒などで出た枝葉をチップに再利用して、通路に敷き均しました。

炭焼き窯の小屋の屋根は、最終的には板張りにしたいと考えています。しかし、板引きは大変な重労働で、時間がかかります。板材が準備できるまで屋根をかけずにほっておくと炭焼き窯が痛んでしまうので、ひとまず耐火シートを張って保護することにしました。



里山遊び塾 11月9日（土）晴れ



スケジュールの関係で、2週続けて里山遊び塾の活動です。炭焼き窯周辺の整備は、まだまだ続きます。今回は、炭焼き窯前の窪地の部分の刈り払いと枝葉の片付けです。この場所には過去に伐採し、玉切りされた丸太が置かれています。この丸太も薪にするなど徐々に片付けていく予定です。



里山の活動では、今後炭焼きやホダ木にコナラの伐採木を使っていく予定です。そこで今回、川崎町に依頼しセシウム検査することにしました。オガクズ状にしたコナラを簡易検査してもらったところ、不検出との結果がでました。

里山発見塾 11月16日(土) 晴れ

テーマは「飯盒炊爨体験」と「秋のお宝さがし」です。

●第4回会員活動

第4回の会員活動は、「飯ごう炊爨体験」と「秋のお宝さがし」です。飯ごう炊爨では、各家族に1人ずつ、ボランティアが付きサポートしました。これまで練習してきた成果が的確なアドバイスに現れ、どの家族もみごとな炊きあがりで、大満足の昼食となりました。



午後は、「秋のお宝さがし」です。会員と共に、園内を散策し、「赤い落ち葉」、「くつつく実」などテーマに沿った「お宝」探しに同行しました。公園休憩所に戻ってからは、台紙に「お宝」を貼りつけた子供たちの作品をラミネート加工するなど補助作業を行いました。

里山育て塾 11月23日(土) 晴れ



年明けに予定している炭焼きに備え、薪の運搬作業を始めました。

皆伐更新のエリアで玉切されている伐採木を運搬機で炭焼き窯のある活動場所まで運びます。

炭焼きのほかにホダ木として使う分も含め、これから3回の活動の中で全てを運ぶ予定です。



活動拠点であるツリーハウス周辺には水道がありません。防火用水や雑用水は今後の活動に欠かせないことから、井戸掘りに挑戦することにしました。宮城県森林インストラクター協会の方に協力いただき、まずは井戸掘り場所の選定を行いました。

里山遊び塾 11月30日(土) 晴れ

テーマは「隠れ家づくり」です。

●第5回会員活動

今回は、第2回会員活動で行った「隠れ家づくり」の続きです。前回同様3班に分かれ、各班に2人のボランティアが補助につきました。どちらの班も屋根の骨格部分が見え始め、完成に近付いてきました。昼食には、会員のお母さん方にも協力いただき、子供たちとひつつみ汁をつくりました。



会員活動の担当以外のボランティアは、井戸掘り作業を始めました。里山では、人力のみで行う「上総掘り」という技術を応用した形で行います。やぐらを組み、そこに吊るしたロープの先端に掘り鉄管を取付ます。ロープで鉄管を引き上げ、落下させた衝撃で掘り進めていきます。